

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年2月8日

【四半期会計期間】 第66期第3四半期(自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日)

【会社名】 アトムクス株式会社

【英訳名】 ATOMIX CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 小林 和幸

【本店の所在の場所】 東京都板橋区舟渡三丁目9番6号

【電話番号】 03(3969)3111

【事務連絡者氏名】 管理統括部長 富士田 学

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区神田富山町18番地

【電話番号】 03(5297)1801

【事務連絡者氏名】 管理統括部長 富士田 学

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第65期 第3四半期 連結累計期間		第66期 第3四半期 連結累計期間		第65期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年12月31日	自 至	平成24年4月1日 平成24年12月31日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高	(千円)		6,900,616		7,589,675		10,516,035
経常利益	(千円)		60,641		248,999		344,402
四半期(当期)純損益 (は損失)	(千円)		26,484		122,383		139,358
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		32,107		107,694		146,388
純資産額	(千円)		8,751,357		8,966,796		8,929,853
総資産額	(千円)		13,077,175		13,066,669		13,518,129
1株当たり四半期(当期)純損益 金額(は損失)	(円)		3.13		14.49		16.50
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		66.9		68.6		66.1

回次		第65期 第3四半期 連結会計期間		第66期 第3四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年10月1日 平成23年12月31日	自 至	平成24年10月1日 平成24年12月31日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		1.28		11.6

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社、以下同じ)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

主要な関係会社の異動については、次のとおりです。

当第3四半期連結累計期間において、連結子会社であった阿童木(廊坊)塗料有限公司は平成24年5月25日に清算結了したことにより、連結の範囲から除外しています。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものです。

(1) 業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に、一部において緩やかな回復基調がみられたものの、個人消費においては消費税増税法案の成立や厳しい雇用環境などによる将来の不安から消費の好転はみられず、また外国為替の急激な変動や原油価格の高騰により依然として不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは引続き顧客ニーズに応えるため新製品の開発や環境対応型塗料、機能性塗料の拡充をはかるべく営業活動を展開し、また既存製品の改良等による製造原価の低減や経費節減に努めてきました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高75億89百万円（前年同期 売上高69億円）、営業利益2億33百万円（同 営業利益69百万円）、経常利益2億48百万円（同 60百万円）、四半期純利益1億22百万円（同 四半期純損失26百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

< 塗料販売事業 >

建築用塗料、床用塗料及び道路用塗料については、復興需要を背景に東北地方を中心とした公共投資の堅調な推移や民間設備投資の緩やかな持ち直しが見られたことにより、前年より出荷量を伸ばすことができました。家庭用塗料は、いまだ回復しない個人消費の低迷と第3四半期会計期間における週末の天候不順等により出荷量が前年を下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の塗料販売事業の売上高は前年同期に比べて5億64百万円増加し、72億10百万円（前年同期比 8.5%増）となりました。

< 施工事業 >

前期末の仕掛工事が完成したことによる売上を計上した影響と床塗装工事の受注増加により、当第3四半期連結累計期間の施工事業の売上高は前年同期に比べて1億24百万円増加し、3億79百万円（前年同期比 49.1%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、130億66百万円（前連結会計年度末比4億51百万円減少）となりました。これは主に、現金及び預金が4億5百万円、商品及び製品が1億42百万円、仕掛品が1億37百万円それぞれ増加したものの、受取手形及び売掛金が9億45百万円、繰延税金資産（流動資産のその他）が1億22百万円、保険積立金（投資その他の資産）が91百万円それぞれ減少したためです。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、40億99百万円（同4億88百万円減少）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億14百万円、未払法人税等が1億27百万円、長期借入金が1億7百万円それぞれ減少したためです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、89億66百万円（同36百万円増加）となりました。これは主に、配当により84百万円減少したものの、四半期純利益で1億22百万円増加したためです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は1億50百万円で、遮熱塗料などの機能製品の性能向上、防水材の耐汚染性の向上、コーティング材の開発など全て塗料販売事業の研究開発に投入しました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年2月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	9,440,000	9,440,000	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 1,000株
計	9,440,000	9,440,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年10月1日 ~平成24年12月31日		9,440,000		1,040,000		680,400

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成24年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 997,000		単元株式数 1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,439,000	8,439	同上
単元未満株式	普通株式 4,000		
発行済株式総数	9,440,000		
総株主の議決権		8,439	

【自己株式等】

平成24年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
アトミクス株式会社	東京都板橋区舟渡3-9-6	997,000		997,000	10.56
計		997,000		997,000	10.56

2 【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の様動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人保森会計事務所による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,196,902	2,602,306
受取手形及び売掛金	² 4,724,184	² 3,778,300
商品及び製品	966,119	1,108,597
仕掛品	190,506	327,975
原材料及び貯蔵品	464,731	495,815
その他	266,558	145,392
貸倒引当金	89,853	79,339
流動資産合計	8,719,148	8,379,049
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,744,050	2,744,050
その他(純額)	1,317,827	1,283,116
有形固定資産合計	4,061,877	4,027,167
無形固定資産	151,629	152,719
投資その他の資産	¹ 585,472	¹ 507,733
固定資産合計	4,798,980	4,687,620
資産合計	13,518,129	13,066,669
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 2,767,978	² 2,553,514
短期借入金	342,844	342,844
未払法人税等	152,908	25,271
引当金	212,253	119,256
その他	² 475,085	² 518,372
流動負債合計	3,951,069	3,559,258
固定負債		
長期借入金	142,936	35,803
退職給付引当金	268,425	274,737
引当金	119,177	123,195
資産除去債務	38,390	38,805
その他	68,277	68,073
固定負債合計	637,206	540,614
負債合計	4,588,275	4,099,873

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	680,400	680,400
利益剰余金	7,601,695	7,639,658
自己株式	380,175	380,175
株主資本合計	8,941,920	8,979,883
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,996	41,911
為替換算調整勘定	56,062	54,998
その他の包括利益累計額合計	12,066	13,086
純資産合計	8,929,853	8,966,796
負債純資産合計	13,518,129	13,066,669

(2)【四半期連結損益及び包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高		
商品及び製品売上高	6,645,988	7,210,123
工事売上高	254,628	379,551
売上高合計	6,900,616	7,589,675
売上原価		
商品及び製品売上原価	4,559,477	4,922,427
工事売上原価	222,503	314,371
売上原価合計	4,781,981	5,236,798
売上総利益	2,118,635	2,352,876
販売費及び一般管理費	2,049,591	2,119,465
営業利益	69,044	233,411
営業外収益		
受取利息	243	125
受取配当金	5,278	5,918
受取家賃	3,497	3,449
為替差益	-	4,872
その他	4,503	7,527
営業外収益合計	13,522	21,894
営業外費用		
支払利息	7,246	5,386
為替差損	11,228	-
貸倒引当金繰入額	3,445	670
その他	5	250
営業外費用合計	21,925	6,306
経常利益	60,641	248,999
特別利益		
固定資産売却益	-	199
保険満期戻金	-	38,241
特別利益合計	-	38,441
特別損失		
固定資産売却損	-	240
固定資産除却損	782	2,698
子会社清算損	-	11,237
ゴルフ会員権評価損	1,350	-
リース解約損	-	2,710
特別損失合計	2,132	16,886
税金等調整前四半期純利益	58,508	270,553
法人税、住民税及び事業税	22,409	37,163
法人税等調整額	62,582	111,006
法人税等合計	84,992	148,170
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	26,484	122,383
四半期純利益又は四半期純損失()	26,484	122,383

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	26,484	122,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,448	2,084
為替換算調整勘定	7,071	12,604
その他の包括利益合計	5,623	14,689
四半期包括利益	32,107	107,694
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,107	107,694
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年12月31日)
1. 税金費用の計算	一部の連結子会社における税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
投資その他の資産	5,819	6,784

2 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしています。

なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれています。

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	170,773	167,843
支払手形	104,005	123,601
その他(設備関係支払手形)	7,865	12,839

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりです。

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
減価償却費	201,678	191,131

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	84,420	10	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	84,420	10	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗料販売事業	施工事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	6,645,988	254,628	6,900,616	6,900,616
セグメント間の内部売上高 又は振替高	49,852	-	49,852	49,852
計	6,695,840	254,628	6,950,469	6,950,469
セグメント利益	314,743	4,850	319,593	319,593

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額
及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	319,593
全社費用(注)	250,549
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	69,044

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗料販売事業	施工事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	7,210,123	379,551	7,589,675	7,589,675
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,073	-	19,073	19,073
計	7,229,197	379,551	7,608,748	7,608,748
セグメント利益	461,613	36,296	497,910	497,910

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額
 及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	497,910
全社費用(注)	264,498
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	233,411

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。これによる当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微です。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額()	3.13円	14.49円
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	26,484	122,383
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	26,484	122,383
普通株式の期中平均株式数(千株)	8,442	8,442

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年2月7日

アトミクス株式会社
取締役会 御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員
業務執行社員 公認会計士 三 枝 哲 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 小 山 貴 久 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアトミクス株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成24年10月1日から平成24年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益及び包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アトミクス株式会社及び連結子会社の平成24年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。